

2004 . 2

# 白石区民のページ page

白石区インターネットホームページ  
<http://www.city.sapporo.jp/shiroishi/>  
白石区民公式サイト「shiroishi.org」  
<http://www.shiroishi.org/>

日本で育った赤ちゃんが、やがて日本語を話せるように、フランスの赤ちゃんはフランス語を話せるようになる。赤ちゃんが言葉を習得していく過程では、文法や意味などは必要ない。言葉を繰り返し浴びせられることで、自然に身に付いていくものである。

こうした言葉の自然習得に興味を持ち、実践しようと活動しているのが鈴木さんだ。多言語の自然習得を研究・実践している団体「言語交流研究所・ヒッポファミリークラブ」の研究者である。

学生時代は英語が大の苦手。しかし、自分の子どもには、英語ぐらい話せるようになってほしいと思ったことが、この活動を始めるきっかけとなった。「当時はまさに教育ママでした。今は自分が夢中になってます」と笑う。現在鈴木さんは、英語はもちろん、ドイツ語やロシア語、トルコ語、韓国語などあいさつや自己紹介程度なら十八カ国語もこの言葉を話すことができる。

「とにかく自分が赤ちゃんになったつもりで、ひたすら言葉を聞いて、それを人と人との交流の中で実際に話すことです。間違ってもいいんです」。自らは、ホームステイのボランティアに登録し、定期的に外国人を受け入れている。また、国際協力事業団（JICA）北海道国際センターとの交流パーティーや講演会、

赤ちゃんが言葉が自然習得する力は、大人になっても変わらないと思っています。

「言語交流研究所

ヒッポファミリークラブ」研究員

鈴木 明美さん (三七)

(東札幌在住)

今月の人



クラブの会員同士の体験会の世話など多忙な毎日を送る。街で外国人を見ると、すぐ声を掛けるといふ。「写真を撮ってる観光客とかに、『次にどこ行くの?』って程度。通じないこともよくあるんですよ」と話す。こんなことがあった。インド人が経営しているカレー屋に行つて、おいしかったことを、ヒンディー語で伝えた。店の人は目を丸くして大喜び。すぐ友達になったという。

「今は、人が言葉を話せるようになるプロセスの研究に興味があるけど、将来は、小学校とかで多言語を使った国際交流活動もしてみたいですね」と、夢を語ってくれた。

編集 白石区役所総務企画課広聴係  
☎003-8612  
札幌市白石区本郷通3丁目北1-1  
☎861-2400 内線224  
FAX860-5236